
目次

- 【01】 事業報告1
 - 大遊協国際交流援助研究協会と各国領事との意見交換
- 【02】 事業報告2
 - 地域人材育成事業研修 (OFF-JT) を終えて一塩田 恵理
- 【03】 大阪府外国人情報コーナーだより
 - 外国人雇用状況の届出
- 【04】 ネットワーク
 - 都道府県・政令市の地域国際化協会のネットワーク
- 【05】 お知らせ
 - 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修生が来日しました。
 - 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修生と大学生との国際交流会開催のお知らせ
 - JICAボランティア募集
 - 第2回目コミュニティ通訳ボランティア研修を11月下旬に開催します！
- 【06】 OFIX国際交流員のレポート
 - フィリピン料理

【01】 事業報告1

- 大遊協国際交流援助研究協会と各国領事との意見交換

9月13日(火)に、プリムローズ大阪にて(財)大遊協国際交流・援助・研究協会主催の在阪領事との意見交換会が開催されました。今年度はOFIXと連携し、府内の小・中・高校等で実施する国際理解教育に外国人サポーターとして奨学生を派遣する取組にも参加しており、実際に活躍した奨学生の活動発表も行いました。当日は中国・韓国・ベトナム・インドネシアの奨学生と、その母国の領事を招き、活発に意見交換がなされました。

領事の声

平素より留学生のご支援を頂き、誠にありがとうございます。
国際交流を促進するために、留学生に期待することは日本の科学技術を学ぶだけでなく、将来は日本との掛け橋として活躍して欲しいということです。そのためには大学で学ぶだけでなく、日本の文化・言葉を理解しなければなりません。そして、日本へ留学する際には、学校だけではなく、社会との交流も重要であると学生に伝える必要があります。国際理解教育のような活動を通して、今後も留学生が社会貢献する機会を設けてほしいと思っています。

奨学生の声

学生に対してプレゼンテーションをすると、発表後たくさんの質問を受け、母国に対して興味を持ってもらえているということを実感しました。異文化理解を促進させるためにも、「教育」が重要な役割を担っていると思います。実際に外国人サポーターとして、高校生に中国の文化・地理・歴史等を紹介し、日本語で自分が何かを他の人に伝えるという経験が出来るととても有意義な時間となりました。母国紹介を通じて彼らにより多く伝え、外国に対する深い認識を持ち、海外に進出しようとする意欲を持ってもらえれば良いと思っています。

【02】 事業報告2

- 地域人材育成事業研修 (OFF-JT) を終えて一塩田 恵理

「生まれ育った大阪の為に働きたい」という思いを胸に、大学卒業後語学能

力活用人材として4月からOFIXに採用された塩田恵理と申します。大学在学中にアメリカの小学校に1ヶ月間インターンシップに行き、日本に馴染みの無い生徒や先生達へ日本文化を紹介する活動をして以来、「たくさんの人々に日本について知ってもらいたい」という気持ちが強くなりました。そして、より多くの外国人の日本理解を深め、外国人に役立てる人材となるように、草の根国際交流活動に尽力したいと考えています。

先月のOFIXニュース(37号)でも少し紹介されたように、6月から8月まで学校法人エール学園で3カ月間の研修を受けました。今回の研修は、語学力だけではなく社会人として必要なスキルを養成するために、情報処理やビジネスマナーなどについて学べる充実した内容でした。多種多様な科目の中でも、ビジネスプラン開発・実践研修が一番印象に残っています。担当講師の提議によって、その研修の成果物として、社会課題が大きい釜ヶ崎(大阪市西成区)の現状を理解してもらうために、多言語パンフレットを作成することになりました。地域に密接に関わっているNPO法人こえとことばとこころの部屋(ココルーム)の協力の下、3日間のフィールドワークを行い、パンフレットの取材先である釜ヶ崎の町歩きや、掲載する御食事処や宿、銭湯などの取材、協力団体であるココルームでのインターンシップやココルームの代表上田假奈代さんや、職員へのインタビューを行いました。短時間ではありましたが、今まで出会ったことがなかった様々な人との出会い、交流を通してその地域についての理解を深めることができました。生まれ育ちながら大阪の知らない一面を知り、驚かされ、とても刺激を受けると同時に、日本の中にある「多様性」を知り、「多文化共生」について深く考えさせられました。

また、パンフレット制作事業の目的やミッション、業務計画の作成や業務分担から実際の業務に至るまで講師のアドバイスをもらいながら、研修生が自ら話し合い、計画し、従事しました。1つの事業の企画から成果物完成までの全工程を研修生が主体となって行うということは、1つの目標に取り組む組織の中での研修生それぞれの能力や強みは何か、チームとは何かを気付かせてくれる経験となりました。この貴重な体験を今後の業務に活かし、大阪の国際化に貢献できるように成長していきたいと思えます。

【03】大阪府外国人情報コーナーだより

■外国人雇用状況の届出

留学生や外国人の方を積極的に雇う企業も増えてきていますが、平成19年10月1日より外国人を雇入れる事業主は全て雇入れまたは離職の際に、外国人労働者の氏名、在留資格、在留期間などを確認して、ハローワークに届出ることが義務付けられています。留学生や家族滞在の在留資格でアルバイトする場合も対象となります。雇用保険被保険者資格を有する外国人労働者の場合は、雇入れた月の翌月10日までに、離職の場合は、離職日の翌日から10日以内に届出をします。また雇用保険被保険者資格がない場合は、雇入れ・離職の翌月の最後の日までに届出することになっています。届出をしなかったり、嘘の届出を行った場合は30万円以下の罰金の対象となります。ただし、特別永住者や「外交」・「公用」の在留資格を有している外国人労働者に関しては届出の義務はありません。

◎大阪府外国人情報コーナー

(月～金曜日(祝日を除く))

(対応時間: 9:00～17:30)

専用電話: 06-6941-2297 F A X: 06-6966-2401

E-mail: jouhou-c@ofix.or.jp

対応言語: 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、日本語

【04】ネットワーク

■都道府県・政令市の地域国際化協会のネットワーク

都道府県・政令市の地域国際化協会が構成員として参画している団体に、地域国際化協会連絡協議会(事務局: 財団法人自治体国際化協会)があります。

この協議会では、地域国際化協会職員研修の実施や研修助成、地域ブロック活動の促進、情報の共有化及び情報交換の促進などを行っています。

これまでもOFIXニュースでご紹介してきた近畿都道府県・政令市の地域国際化協会による災害時ネットワークの取り組みも、この地域国際化協会連絡協議会の近畿ブロックでの取り組みです。この近畿ブロックには、(財)大阪府国際交流財団、(財)滋賀県国際協会、(財)京都府国際センター、(公財)兵庫県国際交流協会、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団、(財)和歌山県国際交流協会、(財)大阪国際交流センター、(公財)神戸国際協力交

流センターが参画しています。

【05】お知らせ

■大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修生が来日しました。

平成23年9月20日に、アジアの7カ国・地域から8名の大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業 研修生が来日しました。

これから約一ヶ月間、大阪に滞在し、日本の建築・設計技術習得を目指すと共に、国際理解教育への参加、ホームステイなどを通じ、日本の伝統・文化を学びます。

研修生を代表してカンチャナ・ネイチェイさんに、研修に対する意気込みを語っていただきました。

「大きな期待と希望と共に国境を越えて、私達、研修生はここにいます。能力形成や知識交換をする上で、実地研修はとても実りのあるものになると思います。一カ月間の研修中、きっとホームシックになるようなことはないでしょう。新しい分野に対するあくなき探究心と、それぞれの専門分野の重要性が、私達をここに導いてくれたのだと思います。私達の建築・芸術に関する能力を高めてくれる専門家の方々や、先生方に指導してもらえよう研修に参加出来るのは、貴重な機会だと思えます。」

※尚、研修の様子や感想などは、次回以降のOFIXニュースに順次掲載の予定です。

■大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修生と大学生との国際交流会開催のお知らせ

10月14日（金）に大阪大学豊中キャンパスで大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業研修生と交流会を開催します。一緒に交流しませんか。詳細は以下の通りです。

日時： 10月14日 14:40～17:30
会場： 大阪大学豊中キャンパス カルチエ
テーマ： 「大阪からグローバル人材をいかに育成していくか？」
使用言語： 英語

大阪大学の学生だけではなく、他の大学の学生もご参加できます。興味のある方はOFIXまで連絡をください。

電話：06-6966-2400 ファクス：06-6966-2401
E-mail: info@ofix.or.jp

■独立行政法人 国際協力機構（JICA）JICAボランティア募集のお知らせ

JICAボランティアとは独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。自身の技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に生活し、相互理解を図りながら彼らの自助努力を促進させる形で協力活動を行う、1年間または2年間の海外でのボランティアです。

■応募資格

- ・青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア：20歳～39歳の日本国籍を持つ方

<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/>

- ・シニア海外ボランティア、日系社会シニア・ボランティア：40歳～69歳の日本国籍を持つ方

<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/senior/>

■募集期間

2011年10月1日（土）～11月7日（月）
各地で説明会開催！ 日程・会場の詳細はホームページでご確認ください。

お問い合わせ先：JICA大阪 ボランティア担当
TEL 072-641-6904
JICA国際協力推進員（OFIX内） TEL 06-6966-2400
JICAホームページアドレス：<http://www.jica.go.jp/>

■第2回目コミュニティ通訳ボランティア研修を11月下旬に開催します！

大阪府には現在およそ20万人の方が外国人登録をしておられます。その中には、日本語ができないため、役所の窓口などで意思疎通ができず、十分なサービスを受けることができない人もいます。そのような方々のコミュニケーションの橋渡しをするコミュニティ通訳ボランティアを育成するため、今年度2回目の研修を下記の要領で行います。

日時：平成23年11月21日・22日・25日

場所：マイドームおおさか 8階 第3会議室

対象者：

- ・日常生活に必要な言語運用能力「日本語＋外国語（外国人の方は母語）」を有する方
- ・3日間の研修に出席できる方
- ・OFIX第1回コミュニティ通訳ボランティア研修に参加できなかった方
- ・25～30人程度(国籍不問 応募者多数の場合は書類選考)

1日目（11月21日（月））

ワークショップ 外国人の現状を知る 13：30～14：50

講義：コミュニティ通訳の基本とマナー・ケーススタディー 15：00～16：30

2日目（11月22日（火））

制度（1） 「在留資格のケーススタディー」 10：00～11：15

「外国人児童の受入れ」 11：20～12：20

通訳トレーニング（基礎） 13：20～16：00

3日目（11月25日（金））

制度（2） 「母子保健」 10：00～11：00

「労働」 11：10～12：10

通訳トレーニング（実践） ロールプレイ 13：20～16：00

詳しくは：<http://www.ofix.or.jp/>

【07】 OFIX国際交流員のレポート

■フィリピン料理

皆さん、こんにちは！！OFIX国際交流員のアルビンです。最近、日中はまだまだ暑いですが、朝晩はもう涼しくなってきましたね。もう秋ですね。秋と言えは、食欲の秋です。ですから、今回はフィリピン料理について書きたいと思います。

タイ料理と言えば、トムヤンクンやパタイなど、ベトナム料理なら、フォー、インドネシア料理なら、ナシゴレンという料理はありますが、フィリピン料理と言えば、何を思い浮かべるでしょう…フィリピンを知らない人は何も思い浮かばないでしょう。

フィリピンは多くの外国の方が来たため、様々な文化のつぼです。フィリピンは33年間もスペインの植民地でしたし、その間は貿易の関係で中国、インド、ポルトガルなどが来ていました。スペインの後にはアメリカが来て、そして、戦争の時に日本が来ました。こうやって様々な文化がフィリピンに入ってきました。

スペインが一番長くフィリピンに留まったので、一番大きい影響を与えています。服装、言葉、文化、それから、料理まで影響を与えています。フィリピンにはスペイン風の料理がたくさんあります。スペインで食べるものと同じ味になるかどうかわかりませんが、エストパド、メヌド、レングア、サルサド、トルタ、マリス・コン・イエロ、もう名前だけで「スペイン風料理」だってわかります。一番一般的な物はアドボで、フィリピンのどこに行っても、分からない人はいません。

次に中国の影響です。スペインがフィリピンにいた時から中国人との接触が多く、フィリピンに移民した中国人も少なくありません。それで、中華風料理も一般的になりました。麺類が多くて、パンシットという焼き麺があって、様々な種類、例えば、パンシットビーフン、パンシット広東、ミキビーフン、パンシットマラボンなどがあります。フィリピンのラーメンもあって、フィリピンでは「マミ」と言います。スープは日本のラーメンと違って、あっさりしています。チキンマミ、ビーフマミ、ワンタンマミなどがあります。それから、

肉まんもあって、フィリピンでは「ショーパオ」と呼びます。一般的に家で食べる中華風料理は「チャップスイ」という野菜料理です。これは日本で言う八宝菜です。

では、本当の「フィリピン料理」はないのかと思う人もいるでしょう。それはあります。だけど、フィリピンは多くの島で構成されていて、島・地域によって料理が変わります。例えば、ビコルという地域で唐辛子を作っている地域性か、辛い料理が多いです。その地域によく知られている料理はビコルエクスプレスです。セブに行けば、また違う料理を味わうことができます。フィリピン料理をここで全部紹介するのは難しいですが、実際に行って、それぞれの地域の料理を自分の舌で味わってください。

一つのフィリピン料理の作り方を教えます。フィリピンの代表的な料理、アドボです。

チキン・アドボの作り方

食材：

油（適量）

チキン（豚肉も大丈夫です）

醤油とお酢（醤油と酢の割合は1：2）

ニンニク2～3片（潰してみじん切り）

ローリエの葉っぱ2枚、こしょう（少々）

砂糖（適量）

作り方：

1. 醤油とお酢を混ぜて、チキンを30分浸け込みます。
2. フライパンに油を入れて、ニンニクを炒めます。
3. 次にチキンを入れて炒めます。
4. 少し焼いたら、残った浸け汁を入れて、コショウとローリエの葉っぱを入れてチキンが柔らかくなるまで煮込みます（だいたい10分）。
5. 好みに砂糖を入れて、さらに5分煮込みます。

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka)』
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメールマガジンです！
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※イベントカレンダー：国際交流に関するイベント情報を紹介しています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>

※イベントカレンダーへの情報提供をお待ちしています。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/event.cgi>

※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index2.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ http://www.ofix.or.jp/ofix/index4_1.html

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

⇒ info@ofix.or.jp

≫≫ 大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報（レポート）はこちら

⇒ clubnews@ofix.or.jp

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら

⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。

⇒ http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no38.pdf

≫≫ バックナンバー

⇒ <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

発行：(財)大阪府国際交流財団 (OFIX)

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階

TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆